



トヨタ プリウス

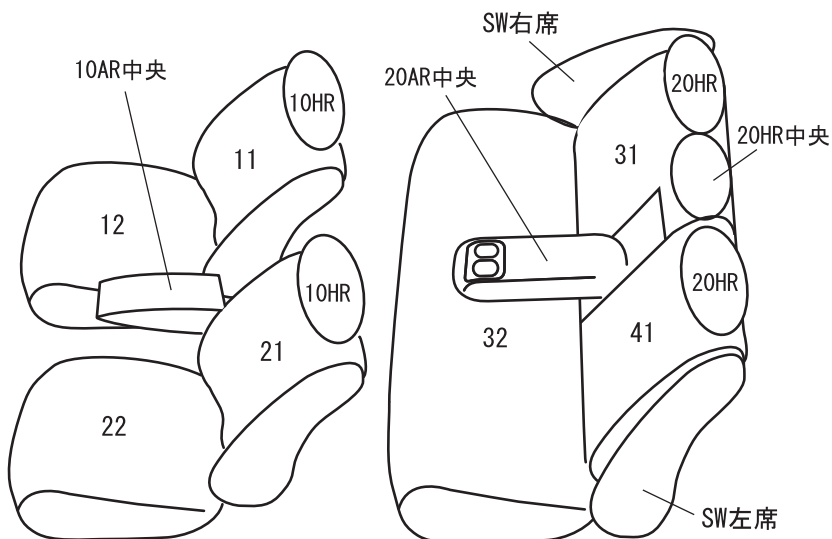
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

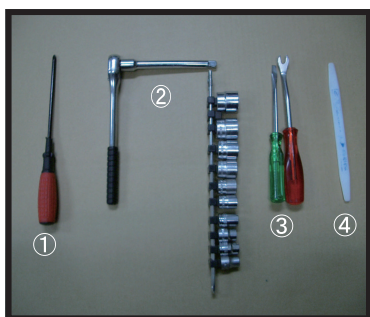
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

1070/1071

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ①＋ドライバー
- ②ソケットレンチセット
- ③ードライバーまたは内張り外し
- ④ヘラ

*この車種では、①と②の工具を使用します。

*この車種では、③の工具は使用しません。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状(2番参照)の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



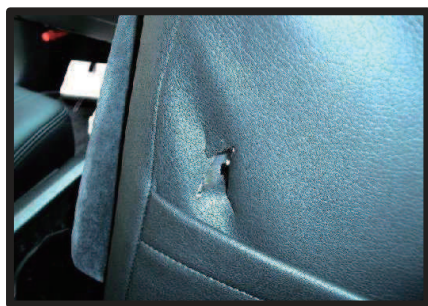
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。

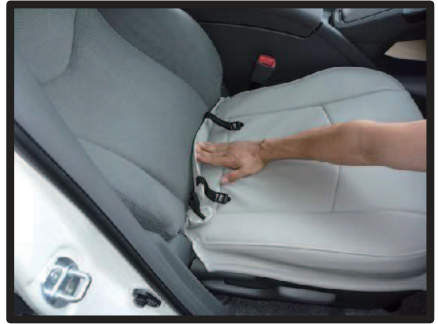


- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

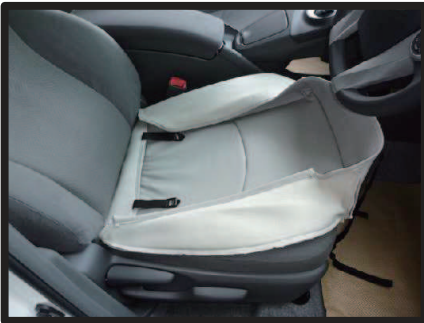
1 列目座面



①最初に背もたれ背面から座面裏に回っているカバーを外します。カバーは座面裏にゴムで引っ掛け固定されています。ゴムを座面裏から外すとカバーも外れます。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。



②カバーを裏返しシートのラインに合わせてみます。



⑤入れ込んだ生地を背面から引き出します。この際、矢印の位置にサイドエアバッグの配線が通っていますので、カバーの切れ込みでかわして引き出します。



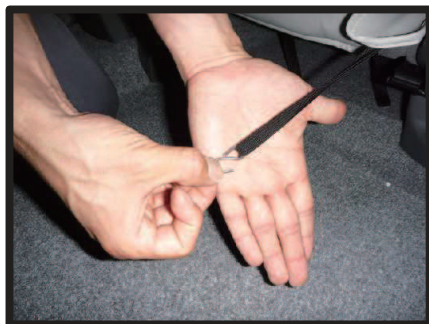
③シートのラインからずれないようにカバーをかぶせます。



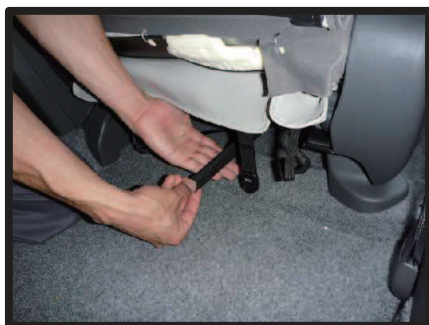
⑥カバー外側面の生地をシートのプラスチック部分に入れ込みます。入れ込みにくい場合はヘラ等を使用すると作業がしやすくなります。



⑦座面付け根部分は生地を入れ込む隙間が狭くなっています。矢印のように外へ逃がすイメージで生地を入れ込むと入りやすくなります。



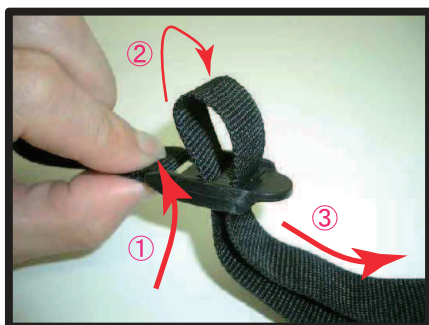
⑩⑤で引き出した生地の上にゴムが付いています。ゴムに付属のS字フックを写真のように取り付け、座面裏の金属部分に引っ掛け固定します



⑧カバー前方に付いているベルトを座面裏を通し背面から引き出します。



⑪1列目座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。



⑨ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。

1 列目座面 (運転席パワーシート)



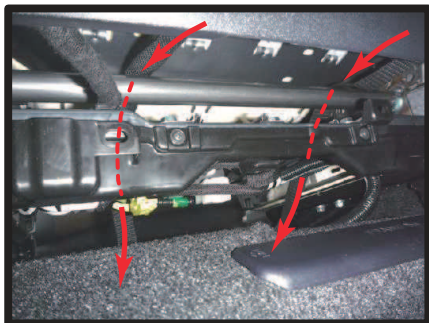
① 1 ページ①～⑤と同様に、シートにカバーをかぶせます。
カバー前側のベルトは、図のようにシートのプラスチック部の隙間に通します。



② 通したベルトを、下側から引き出します。



③ カバー外側面の生地をシートのプラスチック部分に入れ込みます。



④ ②で引き出したベルトを座面裏を通し、後ろ側から引き出します。
ベルトを通す際は、シート位置を一番上に上げた状態で、図の金属部分の上側を通すようにして下さい。



⑤ 2 ページ⑧～⑩と同様にカバーを固定します。
サイドエアバッグの配線は、図のようになります。



⑥ 1 列目運転席座面 (パワーシート) の完成です。

1 列目背もたれ



注意

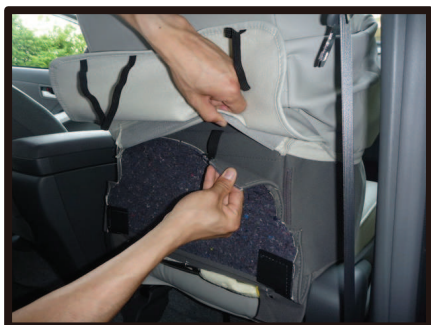
サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



①カバーを半分ほど折り返してシートにかぶせます。肩のラインが張るぐらいまでしっかりとかぶせて下さい。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



②1ページの①で最初に外した座面裏に回っているカバーをめくり上げ、背もたれカバーの中に入れ込みます。



⑤入れ込んだ生地を背面から引き出します。サイドエアバッグの配線にご注意下さい。



③カバーを全体にかぶせます。



⑥①→②→③の手順で背もたれ側面の生地をシートに馴染ませていきます。側面のシワが消えるまで繰り返して下さい。



⑦ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。台座の端に生地をしっかりともぐり込ませます。



⑩背もたれ背面下に付いているゴムに付属のS字フックを取り付けます。



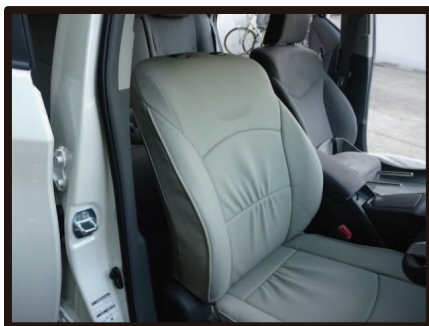
⑧生地の伸びを利用して台座を取り出します。



⑪S字フックは座面裏の金属部分に引っ掛け固定します。



⑨⑤で引き出した生地と背もたれ背面をマジックテープで固定します。



⑫サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
1列目背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。

2列目座面

※2列目座面はシートを車外に取り外し、取り付けを行います。



①座面は左右のフック2箇所固定されています。フックはプラスチックのツメで固定されています。ツメを細い板状のものを差込み、押しながら座面を持ち上げます。

※ツメ部分下記参照



②フックのツメを押しポイントです。フックを押さず座面を持ち上げるとフックが破損する恐れがありますのでご注意ください。



③座面を車外に出します。座面を車外へ運び出す際は、十分注意して運び出して下さい。



④最初に座面後方のフックにカバーの加工穴を通します。



⑤座面全体にカバーをかぶせます。



⑥座面を裏返して前後のベルトを固定します。ベルトは6本あります。

2列目背もたれ



⑦カバー側面から出ているヒモを結びます。まず片方のヒモで輪を作り、もう片方のヒモをその輪に通し引き絞ります。ヒモは強く引っ張りすぎると切れますので、ご注意ください。



①中央のシートベルトを外します。ラチェットレンチなどの工具を使い外して下さい。



⑧⑦のヒモを引き絞る際、ヒモを巻いている生地が内へ入るように引っ張ります。



②背もたれ肩口にあるシートベルトのガイドを外します。ガイドはネジ2本で留まっているのでドライバーを使用します。



⑨2列目座面の完成です。完成した座面は他のパーツを取り付けた後に車体に戻して下さい。



③背もたれ裏のマジックテープで固定している部分を外します。



④カバーの加工穴からシートベルトを取り出します。



⑦背もたれの背面にある角の部分も折り込みカバーの中に入れ込みます。



⑤アームレストを斜めにしカバーを通します。



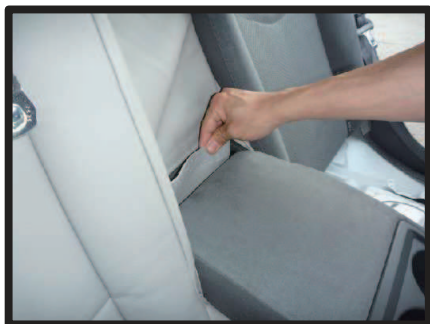
⑧背もたれの付け根にあたるアームレスト下の側面部分に生地を入れ込みます。



⑥③で外した部分をカバーの中に入れ込みます。



⑨アームレストの下に生地を入れ込みます。



⑩アームレストを倒し入れ込んだ生地を引き出します。



⑬リクライニングボタン、ヘッドレストの台座を取り出した写真です。



⑪引き出した生地をマジックテープで固定します。



⑭シートベルトの台座を取り出します。台座のフチにヘラなどを使い生地を入れ込みます。



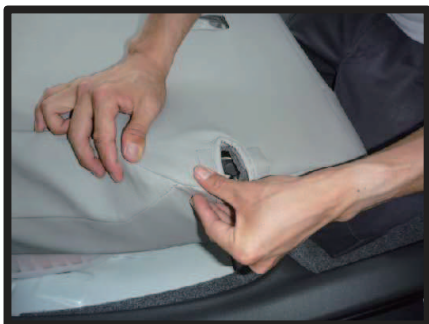
⑫リクライニングボタンをカバーの加工穴から取り出します。



⑮シートベルトの台座を取り出した写真です。



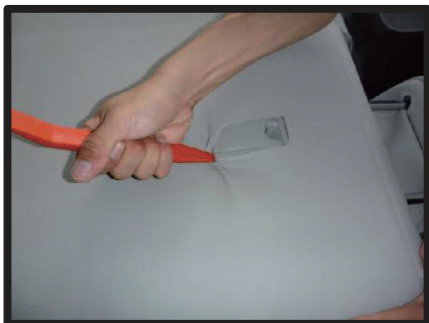
⑩ 背もたれを前に倒し、カバー前面の生地を引き出します



⑨ 背もたれを固定する金具をかわしてマジックテープをシート本体に貼り付け固定します。



⑦ 内側側面下のファスナーを閉じます。ファスナーを閉じる際は生地を内へ寄せながら慎重に閉じて下さい。



⑩ 背もたれ背面のチャイルドシート固定用バーをカバーの加工穴から取り出します。プラスチックのフチに生地を入れ込みます。



⑧ ⑩で引き出した生地を背もたれ背面とマジックテープで固定します。



⑪ チャイルドシート固定用バーを取り出した写真です。

2列目サイドパーツ



- ② 背もたれ背面下の生地を7ページの③で外した部分同様にシート本体に貼り付け固定します。
※座面を戻してから上記の作業は行って下さい。



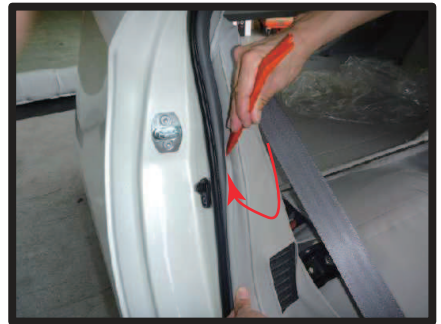
- ① 背もたれを倒しフチに生地を入れ込みます。



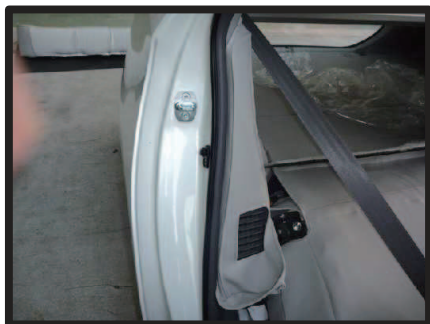
- ② 2列目背もたれの完成です。
助手席側は形状は違いますが、運転席側を参考に取り付けを行って下さい。



- ② 背もたれ横を入れ込んだ写真です。



- ③ 矢印のようにサイドパーツを生地で巻き込みます。車体とサイドパーツの隙間に生地を入れ込みます。



④生地を車体とサイドパーツの隙間に
入れ込んだ写真です。



⑦サイドパーツ下側の底面です。プラ
スチックとの隙間に生地を入れ込み
ます。



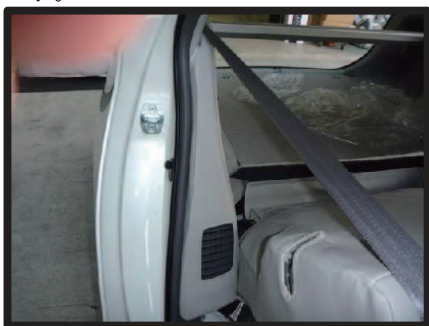
⑤先端部分も車体との隙間に生地を入
れ込みます。隙間が狭いため車体や
カバーを傷付けないようにご注意下
さい。



⑧サイドパーツ下側の生地にゴムが付
いています。ゴムはサイドパーツ自
体を固定しているネジが留まってい
るプラスチックに引っ掛け固定しま
す。



⑥先端部分に生地を全て入れ込んだ写
真です。



⑨サイドパーツ運転席側の完成です。
助手席側も一部形状は違いますが、
同様に取り付けます。

1 列目ヘッドレスト



①カバーを半分ほど折り返してかぶせます。ヘッドレストの先端が張るぐらいまでしっかりとかぶせて下さい。



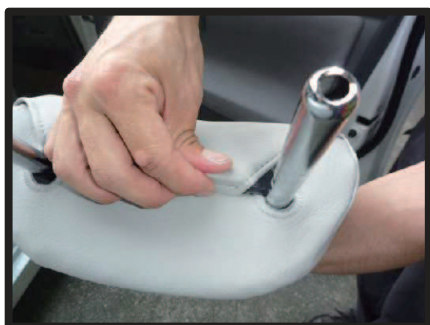
④フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地とともに折り返して挟み込み固定します。



②ヘッドレストのラインからずれないように左右均等にカバーをかぶせます。



⑤プラスチックフックを固定したヘッドレスト裏の写真です。



③ヘッドレストを背もたれから外しカバーをプラスチックのフックで固定します。

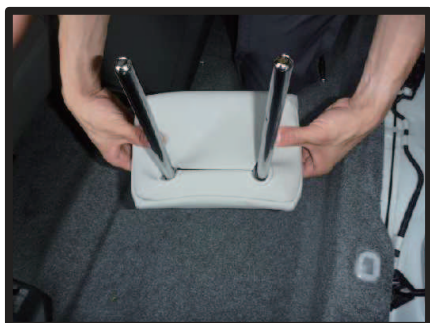


⑥ヘッドレストを背もたれに戻し1列目ヘッドレストの完成です。

2列目ヘッドレスト



- ① 2列目ヘッドレストは矢印の方向にカバーを下から上へとかぶせます。



- ② プラスチックフックを固定したヘッドレスト裏の写真です。



- ③ 2列目ヘッドレストの完成です。

コンソール



- ① コンソールカバーは細いゴムが付いている方が前側です。最初にコンソールのフタを開け、カバーに付いているゴムをコンソールの先端から通します。



- ② カバーに付いている3本のゴム全てを、一度コンソールの中央まで通しカバーをコンソールの下側へずらします。



- ③ コンソール下側にカバーを引っ掛けるようにします。

2列目アームレスト



④カバー全体を引き上げ、カバーの上から2番目のゴムをコンソールの脚部に引っ掛けるようにし、一番上のゴムは、コンソール前側へ引っ掛けます。



⑤コンソールのフタを閉じた状態で、後ろ側の図の赤丸位置から生地がはみ出ている場合は、ヘラ等で隙間へ入れ込んで下さい。



⑥カバーのラインを整え、コンソールの完成です。



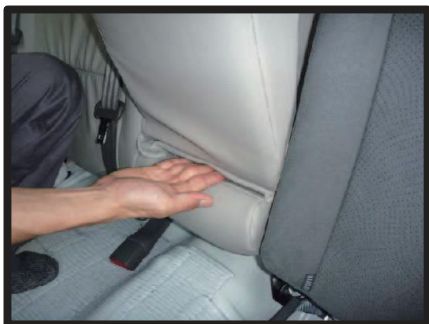
①カバーを半分ほど折り返してかぶせます。アームレストの先端までしっかりとかぶせて下さい。



②カバーを全体にかぶせます。



③アームレストを起こし、アームレスト付け根の側面に生地を入れ込みます。



④アームレストを斜めに倒し、生地を入れ込みます。入れ込みながらアームレストの引き起こしを繰り返していくと、生地が入り込みやすくなります。



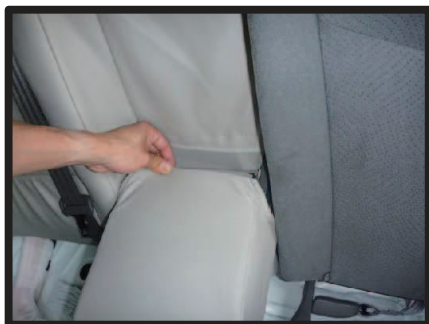
⑦プラスチックフックを固定した写真です。



⑤アームレストを倒し入れ込んだ生地を引き出します。



⑧ドリンクホルダーのフチに生地を入れ込みます。



⑥ヘッドレストと同様にプラスチックのフックで固定します。



⑨2列目センターアームレストの完成です。

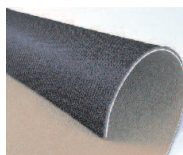


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

- 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

- シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

